

一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

第5回 通常総会 議案書

【日時】 2014年6月22日(日)9:15~9:45

【場所】 北九州市八幡西生涯学習総合センター
(福岡県北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号)

<次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
 - 第1号議案 2013年度 (第5期) 事業報告の件
 - 第2号議案 2013年度 (第5期) 収支決算報告の件
 - 第3号議案 2014年度 役員 (顧問) について
 - 第4号議案 事務所移転について
 - 第5号議案 2014年度 (第6期) 事業計画 (案) の件
 - 第6号議案 2014年度 (第6期) 収支予算 (案) の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉



一般社団法人
日本多胎支援協会
Japan Multiple Births Association

2013年度活動報告

月	事業	運営
4月	研修プログラム事業(プログラムの改訂・DVD制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジン発行 (No.33～40:8回) ・HPの更新 ・情報提供 (女性教育情報センター 他)
5月	病院プログラム事業会議(2日金沢市) 研修プログラム事業会議(18日多治見市)	
6月	第1回理事会・キリン助成事業会議(22日金沢市) 第2回理事会・第4回総会・第4回全国研修会(23日金沢市)	
7月		
8月	リーフレット作成部会会議(3日・多治見市)	
9月	研修プログラム事業会議(18日多治見市) 病院プログラム調査 (広島・東京・岐阜・ 大阪・兵庫・石川)	
10月	支援者研修会事業説明①(8日小松市) 支援者研修会①(31日松山市) 病院プログラム調査 TWINS WEEK啓発事業	
11月	支援者研修会②(15日秋田市) 支援者研修会③(28日久留米市) 支援者研修会④(29日京都市)	
12月	支援者研修会事業説明②(6日彦根市) 日本子ども虐待防止学会参加(松本市12～13日) 病院プログラム事業会議(22日京都市)	
1月	日本双生児研究学会参加(25日大阪市) キリン助成事業会議・第3回理事会(26日大阪市)	
2月	「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月	講師派遣(19日和歌山県橋本市)	

2013年度 事業報告 2

定款の事業名	事業内容	実施時期・回数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
1. 調査および研究	医療施設における、当事者と連携した多胎支援プログラムづくりのためのヒアリング	5月～1月	広島・東京・大阪・岐阜・兵庫・石川	理事6名 外部委員2名	支援者、当事者全般	147,650
2. 情報の普及	全国研修会の開催	6月23日	石川県政記念しいのき迎賓館	理事16名 いしかわ多胎ネット7名 外部協力者2名 外部講師1名	多胎育児に関心がある者全般 参加者60名	1,168,788
	全国研修会講演記録冊子の配布 (内容はHPIに掲載)	2月	事務所	理事2名	会員・役員55名 (多胎育児に関心がある者全般)	
	メールマガジンの発行 (内容はHPIに掲載)	4月～3月 年間8回発行	事務所	理事16名	会員・役員 (多胎育児に関心がある者全般)	
	子育て支援者のための多胎育児支援研修プログラムの改訂と普及	4月～11月	研修会実施4カ所 松山市、秋田市、久留米市、京都市 広報活動2カ所 小松市、彦根市	理事8名 外部講師1名 外部協力者8名 外部協力団体4団体 地元スタッフ9名	支援者全般 参加者計76名	
	新JAMBAリーフレット作成	7月～9月	多治見市、事務所	理事5名	支援者、当事者全般	
3. 意見の表明	Twins' Weekの啓発	10月～11月	事務所	理事3名	支援者、当事者全般	29,950
	日本子ども虐待防止学会の参加	12/13～14	長野県松本市	理事1名	支援者、当事者全般	
	「ツインズデーに乾杯」の普及	2月22日	事務所 各地子育てひろば、サークルなど	理事9名	支援者、当事者全般	
事業支出決算額合計						1,346,388

2013年度(第5期)収支決算報告

(2013年4月1日～2014年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

単位:円

収入の部

項目	2013年度予算	2013年度決算	備考
会費収入			
正会員会費	250,000	190,000	10,000円×19名(理事16名含む)
賛助会員会費	245,000	208,000	団体会員11団体、多胎会員21口(20名)、一般会員7口(6名)
会費収入小計	495,000	398,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	800,000	700,875	
資料代収入	25,000	8,500	全国研修会資料代@1,000×8名 @500×1名
受取利息	100	169	
収入合計	2,320,100	2,107,544	

支出の部

項目	2013年度予算	2013年度決算	備考
I, 事業費			
1, 調査及び研究 (病院Pなど)			
旅費交通費	342,000	117,220	病院Pヒアリング調査・会議交通費
通信費	1,400	5,210	ヒアリング依頼状発送費
消耗品費	1,000	2,620	プリンターインク
謝金	20,000	18,000	ヒアリング協力謝金
会場借料	15,000	4,600	全体会議、病院P会議、会議室使用料
会議費	32,000	0	お茶、弁当代
小計	411,400	147,650	
2, 情報の普及 (助成事業研修会・メルマガ)			
旅費交通費	442,500	595,208	DVD撮影・全国研修会・研修会P講師スタッフ旅費・会議交通費
通信費	12,300	48,563	メルマガ・資料他発送料
謝金	203,887	144,458	DVD撮影協力謝金・研修会講師謝金
消耗品費	6,000	18,456	DVD、封筒他
会場借料	25,000	35,480	研修会場、会議室使用料
会議費	18,000	41,453	お茶、弁当代
制作費	70,000	143,790	DVD編集、研修資料、広報パンフレット印刷代等
支払手数料	4,000	5,880	振込手数料
賃金	80,000	124,500	助成事業賃金(地元スタッフ等)
雑役務費	75,000	11,000	託児費・行事保険料
租税公課	200	0	
小計	936,887	1,168,788	
3, 意見の表明 (Twins' Week)			
制作費	30,000	4,400	Twins' Weekチラシ
通信費	4,800	0	
旅費交通費	30,000	15,550	虐待防止学会(松本市)参加旅費
諸会費	10,000	10,000	虐待防止学会参加費
小計	74,800	29,950	
事業費支出小計	1,423,087	1,346,388	
II, 管理費			
旅費交通費	360,000	149,500	理事会・総会交通費・スタッフ交通費
通信費	63,520	31,770	郵送料・サーバー使用料・電話料金
印刷製本費	59,300	0	
消耗品費	15,000	105	文房具
会場借料	10,000	0	
支払手数料	86,000	36,290	支払手数料、活動協力費
雑役務費	3,000	0	ボランティア保険料
法人住民税	20,000	20,000	埼玉県県民税
租税公課	200	10,000	登記変更費用
会議費	10,000	23,120	茶・弁当代(会議・研修)
備品費	35,000	45,345	会計ソフト、編集ソフト
諸会費	12,000	12,000	ひろば全協
予備費	10,000	0	
管理費支出小計	684,020	328,130	
支出合計	2,107,107	1,674,518	

2013年度の収入-支出

433,026

2012年度より繰越金

249,977

項目	2013年度予算	2013年度決算	備考
次期繰越収支差額	462,970	683,003	

正味財産増減計算書

自 2013年4月1日 至 2014年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)		
正味財産増加の部		
1	資産増加額	433,026
2	負債減少額	0
	当期収支差額	433,026
正味財産減少の部		
1	資産減少額	0
2	負債増加額	0
	減少額合計	0
	当期正味財産増加額(減少額)	433,026
	前期繰越正味財産額	249,977
	当期正味財産合計	683,003

貸借対照表

2014年 3月31日現在

単位:円

資産の部 【流動資産】		負債の部 【流動負債】	
現金及び預金	721,003	未払法人税	20,000
		未払金	18,000
		流動負債合計	38,000
流動資産合計	721,003		
		負債の部合計	38,000
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	249,977
		当期正味財産増加額	433,026
		一般正味財産合計	683,003
資産の部合計	721,003	正味財産の部合計	683,003
資産合計	721,003	負債及び正味財産合計	721,003

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会
 代表理事 志村 恵 様

平成26年6月1日

監 事 杉浦 祐子 印
 監 事 吉井 一美 印

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の平成25年度(第5期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上


* 監査報告書の正式書類は、事務局にて保管しています。
 閲覧をご希望の方はお申し出ください。

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会

代表理事 志村 恵 様

平成26年 6 月 / 日

監 事 杉浦 祐子 

監 事 吉井 一美 

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の平成25年度(第5期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上

第3号議案

2014年度役員(顧問)名簿案

五十音順

役割	氏名	所属(専門)
顧問	天羽幸子	ツインマザースクラブ名誉会長(発達心理学・双生児についての縦断的研究)
	今泉洋子	大阪大学大学院医学系研究科・招聘教授 (人類遺伝学、周産期疫学、双生児の疫学的研究)
	加藤則子	国立保健医療科学院 統括研究官 (母子保健・身体発達・多胎児の疫学・育児支援プログラム)
	末原則幸	日本周産期・新生児医学会 名誉会員 (産科)
	平岩幹男	独立行政法人国立成育医療研究センター理事(発達障害)

第4号議案

事務所移転について

1. 一般社団法人日本多胎支援協会の主たる事務所を、平成26年7月1日付けで、埼玉県さいたま市浦和区領家3丁目23番9号より、兵庫県神戸市西区井吹台東町3丁目2番地8-202号に移転し、登記変更申請することを提案します。
2. 上記に伴い、一般社団法人日本多胎支援協会定款について、以下の変更を提案します。

主たる事務所所在地の変更

埼玉県さいたま市より、兵庫県神戸市に移転する。

変更前 (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を 埼玉県さいたま市 に置く。

変更後 (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を 兵庫県神戸市 に置く。

2014年度活動計画（案）

月	事業	運営
4月	PSチーム会議(25日名古屋市)	研修Pの改訂
5月	PF教室講座テキスト執筆	研修Pチーム会議 (31日大阪市)
6月	第1回理事会(21日北九州市) 麒麟助成事業会議(21日) 講座試行打合せ他 総会(22日) 全国研修会(22日)	
7月	(事務所移転)	
8月	PF教室運営講座試行 9日(岐阜市) アンケート集計・分析・ テキスト修正	研修会の実施 (京都・彦根・小松他)
9月	第20回日本子ども虐待防止学会学術集会 第20回国際子ども虐待防止学会世界大会(14~17日名古屋市)	メールマガジンの配信 (年4回+α) HPの更新 立ち上げ支援 情報提供 講師派遣
10月	TWINS WEEK啓発事業	
11月		
12月		
1月	日本双生児研究学会(金沢市・24日) 講座案・テキスト修正 麒麟助成事業会議(同・25日) 教室開催パッケージ作成 第2回理事会(同・25日) 研修の評価と検討	
2月	報告書執筆 「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

略記号 PS:ピアサポート
PF教室:多胎プレファミリー教室
研修P:研修プログラム

2014年度 事業予定(案)

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
1. 調査および研究						0
2. 情報の普及	全国研修会の開催	6月22日	北九州市八幡西総合学習センター	理事14名	多胎育児に関心がある人全般 参加者80名予定	1,739,000
	メールマガジンの発行	年間4回以上発行		理事16名	会員・役員、および多胎育児に関心がある方全般	
	子育て支援者のための多胎育児支援研修プログラムの改訂と普及	4月～3月	他団体とも協力し、3箇所以上で実施の予定	理事5名、 外部講師2名	支援者、当事者全般	
	多胎プレファミリー教室のプログラム開発と試行、テキスト作成	4月～3月	岐阜市他	理事4名 外部協力者2名	支援者、当事者全般、	
	HPの充実	4月～3月			支援者、当事者全般、多胎育児に関心がある方全般	
3. 意見の表明	Twins' Weekの啓発	10月～11月		理事16名	支援者、当事者全般	78,000
	日本子ども虐待防止学会の参加	9月14～17日 (14～15日)	名古屋国際会議場	理事1名		
	ツイズデーに乾杯	2月22日	各地子育てひろば、サークルなど		支援者、当事者全般	
4. その他 立ち上げ支援		随時		理事16名	全般	0
事業支出予算額合計						1,817,000

2014年度(第6期)収支予算案
(2013年4月1日～2014年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

単位:円

収入の部

項目	2013年度決算	2014年度予算	備考
会費収入			
正会員会費	190,000	200,000	10,000円×20名(理事16名含む)
賛助会員会費	208,000	240,000	団体会員10、多胎会員30、一般会員10
会費収入小計	398,000	440,000	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	キリン福祉財団
賛助	700,875	700,000	
資料代收り入	8,500	15,000	全国研修会資料代@1,000×10名 @500×10名
受取利息	169	150	
収入合計	2,107,544	2,155,150	

支出の部

項目	2013年度決算	2014年度予算	備考
I, 事業費			
1, 調査及び研究			
旅費交通費	117,220	0	
通信費	5,210	0	
消耗品費	2,620	0	
謝金	18,000	0	
会場借料	4,600	0	
会議費	0	0	
小計	147,650	0	
2, 情報の普及 (助成事業研修会・メルマガ)			
旅費交通費	595,208	1,250,000	全国研修会・研修会等講師スタッフ旅費・会議交通費
通信費	48,563	40,000	メルマガ・資料他発送料
謝金	144,458	200,000	全国研修会・研修会等講師・委員謝金
消耗品費	18,456	15,000	DVD、封筒他
会場借料	35,480	67,000	研修会場、会議室使用料
会議費	41,453	62,000	お茶、弁当代
制作費	143,790	60,000	研修資料、広報パンフレット印刷代等
支払手数料	5,880	5,000	振込手数料
賃金	124,500	40,000	助成事業賃金(地元スタッフ等)
雑役務費	11,000	0	託児費・行事保険料
租税公課	0	0	収入印紙
小計	1,168,788	1,739,000	
3, 意見の表明 (Twins' Week)			
制作費	4,400	20,000	Twins' Weekチラシ
通信費	0	8,000	資料郵送料
旅費交通費	15,550	30,000	日本子ども虐待防止学会(名古屋市)参加旅費
諸会費	10,000	20,000	同学会参加費
小計	29,950	78,000	
事業費支出小計	1,346,388	1,817,000	
II, 管理費			
旅費交通費	149,500	150,000	理事会・総会交通費・スタッフ交通費
通信費	31,770	30,000	郵送料・サーバー使用料・電話料金
印刷製本費	0	70,000	議案書・リーフレット・封筒他印刷代
消耗品費	105	15,000	プリンターインク・文房具・封筒他
会場借料	0	10,000	総会・理事会会場費
支払手数料	36,290	40,000	支払手数料、活動協力費
雑役務費	0	0	
法人住民税	20,000	21,000	埼玉県(兵庫県)県民税
租税公課	10,000	80,000	収入印紙・登記変更費用
会議費	23,120	20,000	
備品費	45,345	10,000	
諸会費	12,000	12,000	ひろば全協
予備費	0	10,000	
管理費支出小計	328,130	468,000	
支出合計	1,674,518	2,285,000	

項目	2013年度決算	2014年度予算	備考
次期繰越収支差額	683,003	553,153	

平成25年度 計画助成事業実施報告書

平成26年3月27日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

〒330-0072

住 所 埼玉県さいたま市浦和区領家3-23-9

団 体 名 一般社団法人日本多胎支援協会



代 表 者 志村 恵



T E L 048-877-4244 F A X 048-877-4244

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	多胎家庭の虐待予防のための連携型支援事業(1年次)
2. 事業目的	多胎育児家庭での虐待を予防するため、当事者性を生かした妊娠期からの切れ目のない支援の仕組みづくりを行う。
3. 事業概要	<p>多胎育児家庭の増加は、生殖補助医療や医療技術の進歩によって著しいが、制度や社会全体の理解はそれに追いついておらず、虐待の発生率は一般家庭の3倍とも言われている。多胎育児家庭においては、QOLの向上と妊娠から出産・育児へと切れ目のない支援が必要である。とりわけ虐待予防の観点から、保健・医療・福祉といった専門職による「縦」の社会資源を、当事者や当事者性を生かして「横」に繋ぎ、連携して支援する仕組みの創生が必要である。</p> <p>以上のような現状を踏まえ、また当協会の知識と経験を生かし、本助成において 1)「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実行・普及」 2)「周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムの調査(ヒヤリング調査)」の2つの事業を柱として行った。またその実行のために委員会を組織し、全体会と分科会を行った。</p> <p>1)「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実行・普及」 ・既存の研修プログラムをブラッシュアップしたうえで、4箇所を実施した。 ・本プログラムを行う過程において当該地域の子育て支援拠点の担当者と情報交換し、多胎育児支援(ふたごサロンやサークル)の充実をサポートした。</p> <p>2)「周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムの調査」 ・全国研修会を行い、周産期医療施設における多胎妊婦支援の意義と有効性を確認した。 ・多胎育児当事者(当事者リソーサー)や地域の子育て支援と連携しているモデル的な周産期医療施設4箇所の担当者と当事者、未実施地1カ所の当事者へのヒアリングを実施した。</p>
4. 事業時期内容	<p>1)「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実行・普及」 ◆「ツインズファミリー子育てひろばにWelcome! 研修会」開催 4カ所 ①実施地、②協力団体、③会場、④打ち合わせ日、⑤開催日 1. ①愛媛県松山市、②特定非営利活動法人子育てネットワークえひめ、③子育てネットワークえひめ「セミナールーム」、④8月28日、⑤10月31日 2. ①秋田県秋田市、②特定非営利活動法人あきたキッズネットワーク、③秋田県青少年交流センター「ユースパル」④9月4日、⑤11月15日 3. ①福岡県久留米市、②特定非営利活動法人子育て支援ボランティアくるるん、③子育て交流プラザ「くるるん」、④10月22日、⑤11月28日 4. ①京都府京都市北区、②京都市明德児童館、③京都市明德児童館遊戯室、④9月27日、⑤11月29日 ◆事業説明 2カ所 ①訪問先(所在地)、②訪問日 1. ①よしたけ保育園(石川県小松市吉竹町)、②10月8日 2. ①彦根市子どもセンター(滋賀県彦根市日夏町)、②12月6日 ◆事業チーム会議 3回 ①実施日、②会場(所在地) 1. ①5月18日、②桑山ビル(名古屋市中村区) 2. ①6月22日、②四校記念館(金沢市広坂) 3. ①1月26日、②市民交流センターひがしよどがわ(大阪市東淀川区)</p>

	<p>2)「周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムの調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全国研修会の実施 6月23日 石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市) ◆周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムに関するヒアリング調査 5カ所 <ul style="list-style-type: none"> ①実施地、②協力団体 1. ①東京都三鷹市、②杏林大学医学部付属病院・ジェミクラブ 2. ①広島県広島市、②広島市民病院・ピーナッツフレンド 3. ①大阪府和泉市、②大阪府立母子保健総合医療センター・サークル(堺市・岸和田市) 4. ①岐阜県岐阜市、②ぎふ多胎ネット 5. ①兵庫県神戸市、②ひょうご多胎ネット ◆事業チーム会議 4回 ①実施日、②会場(所在地) <ul style="list-style-type: none"> 1. ①5月2日、②四校記念館(金沢市広坂) 2. ①6月22日、②四校記念館(金沢市広坂) 3. ①12月22日、②メルパルク京都(京都市下京区) 4. ①1月26日、②市民交流センターひがしよどがわ(大阪市東淀川区) <p>3)事業全体会議 2回 ①実施日、②会場(所在地)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. ①6月22日②四校記念館(金沢市広坂) 2. ①1月26日、②市民交流センターひがしよどがわ(大阪市東淀川区)
--	--

<p>5. 事業成果</p>	<p>1)「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実行・普及」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数は、松山16人、秋田7人、久留米26人、京都27人、合計76人であった。1カ所の参加人数は15～20人と想定していたので、地元団体に多大なご協力をいただきながら、高い関心を持って参加いただけたと考えている。 ・地元の協力団体との打ち合わせ時には、「多胎家庭は大変だが何をしてもよいかかわからない」といったイメージ等が聞かれたが、プログラムを講義形式での「多胎の妊娠出産育児」や当事者の語りを盛り込んだDVDの視聴で構成することによって、具体的な困難感や孤立感を伝えることができた。 ・どの会場でも、ワークを通じて地域の子育て支援者と多胎育児経験のある支援者(サークルリーダーなど)が交流し、何かを一緒にしようという機運に持っていくことができたことは、大きな成果であった。 ・参加者アンケートでは、研修参加の満足度を5段階評価で問う設問に関して、87%が「5(とても満足)」、12%が「4」と回答し、「今後の活動に役立つか」との設問でも、同じく5段階評価で87%が「5(大いに役立つ)」、12%が「4」と回答した。 <p>2)「周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムの調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国研修会の参加者は、当事者、医療職、行政職、民間の子育て支援関係者、研究者など、10都府県からの約60名であった。国内でも先進的な多胎支援活動を行う大阪府立母子保健総合医療センター企画調査部長である講師より、周産期医療施設における多胎支援の意義と内容について学び、それぞれの地域・立場でできる多胎支援について考える機会となった。参加者アンケートでは、90%が「とても良かった」、10%が「良かった」と回答した。 ・ヒアリング調査は、5つの地域において、医療者10名、ピアサポート経験当事者34名、ピアサポート未経験当事者27名より回答を得た。実際のピアサポート実施地では、医療者側・当事者側共にその効果や手応えに対する評価が高く、また未経験当事者も活動に対する意欲と期待が高いことが確認できた。また、ピアサポーター養成講座受講者と未受講者間での活動に対する意識の違いが現れ、養成講座受講がより質の高いサポートにつながっていることや、ピアサポーター養成講座に盛り込むべき内容の資料となった。
----------------	--

<p>6. 今後の計画</p>	<p>平成26年度も引き続き「多胎家庭の虐待予防のための連携型支援事業(2年次)」に取り組み、以下の事業を行う。</p> <p>1)「子育て支援者を対象とした多胎家庭支援研修プログラムの実行・普及」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26年度は3か所の研修を予定する。また研修会の開催をお願いするに当たり、「今年度はもう研修会の計画はできていて開催できないが、来年度の事業計画に入りたい」という声をいただいた。26年度から次年度の研修会を開催できるよう、多方面に声掛けしていきたい。 ・研修会全体の時間の長さが課題である。プログラム全体を再度見直し、行政や他の団体の研修として開催しやすい2時間～2時間半程度のプログラムにするよう検討する。 ・参加者の属性を考慮して、プログラムに強弱をつけることで、より効果的に多胎育家庭の支援について伝えることができると考える。その精査について再度確認の機会をもつ。 <p>2)「周産期医療施設を対象とした多胎家庭支援プログラムの調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度は、今年度の調査結果を基に、ピアサポート活動の質を担保し、普及を促すためのピアサポーター養成講座の実施をめざし、講座で使用するテキストを作成する。 ・妊娠期からの多胎支援の方法を、周産期医療施設内に限定せず、医療職・行政職と当事者が連携して行うプレパパママ教室の開催なども含めて新たに探る。 <p>3)「地域支援事業」</p> <p>上記2事業と共に、多胎家庭支援の全国的普及を目指し、全国各地の参加者を募る研修会を行う。H26年度は、連携型多胎家庭支援について学び、各地での展開方法を検討する。多胎家庭支援のための地域ネットワーク形成が期待される地域では、その後も継続的にフォローする。</p>
-----------------	---

平成25年度 会計収支報告書

平成26年3月27日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会 

収入の部

	項 目	金 額					備 考
		十 万	万	千	百	十 円	
1	麒麟福祉財団助成金	1	0	0	0	0	
2	自己資金	1	5	6	0	9	
3	資料代			8	5	0	全国研修会 @1000×8名+@500×1名
4							
5							
6							
	(A) 合 計	1	1	6	4	5	9

支出の部

	項 目	金 額					備 考
		十 万	万	千	百	十 円	
1	謝金		8	2	2	7	DVD制作(出演@3,000×3名、7ア シテーター5,000円、撮影3,000円)、
2	印刷製本費	1	4	3	1	9	全国研修会(案内作成2,500円、 同印刷費4,600円、演題作成費
3	旅費交通費	7	1	2	4	2	6/22~23全国研修会・チーム会議 (講師旅費23,020円、委員宿泊費
4	通信費		5	3	7	7	宅配便代8,230円、メール便 26,573円、レターパック@500×
5	会場費		4	0	0	8	全国研修会15,200円、事業会議2 回17,200円、支援者研修会1回
6	消耗品費		1	7	8	7	支援者研修資料用ファイル8,980 円、DVD980円、封筒・ラベルシール等
7	その他(会議費)		3	5	2	2	弁当・お茶代 全国研修会11,635円、支援者研修
8	その他(賃金)		6	3	5	0	全国研修会(当日現地スタッフ@ 2,500×7名、現地スタッフ@
9	その他(雑役務費)		1	1	0	0	各託児費(DVD撮影@2500×2、 支援者研修託児@1,000×3h×2
10	雑 費			5	2	5	振込手数料 @210×17、@420×4
	(B) 合 計	1	1	6	4	5	9